

<p style="text-align: center;">研究構想シート</p>		<p style="text-align: center;">学校名</p>	<p style="text-align: center;">出雲市立北浜小学校</p>
		<p style="text-align: center;">氏名</p>	<p style="text-align: center;">松本 堯之</p>
<p>A 研究主題 きたはまっ子の健やかな育成をめざして ～体育科での学び合いを生かした授業づくり～</p>			
<p>B 研究の目的 単元構成や学習過程の工夫、主体的に学び合う場面の設定、日常生活の中で運動に親しむ場や生活習慣について考える場を設定することで、児童が運動や健康についての自己の課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う授業の在り方を明らかにする。</p>			
<p>C 子どもの実態</p> <p>○令和5年度小体連実態調査結果より</p> <p>【鉄棒】</p> <p>4年生全児童の逆上がり達成率【100%】</p> <p>【縄跳び2重跳び5回連続】</p> <p>2年生以上の達成率【100%】</p> <p>小体連の実態調査結果は、縄跳びの達成率が伸びてきた。鉄棒については、逆上がりの達成率が今年も100%であった。体カテストの結果や普段の体育の現状から、児童の運動経験には不足と偏り、2極化が見られる。</p> <p>体育科の学習における運動のポイントやコツを話し合うような他者との関わり合いについては、話し合う視点を自分達でもつことが難しく、話し合いにおける視点の発見や話し合い自体の経験を積み重ねていく必要がある。</p>	<p>E 手立て・内容（研究仮説）</p> <p>(1) つけたい力を明確にした単元構成や学習過程を工夫すれば、目標に向かって児童が自分の課題を持ち、解決しようと意欲を持って粘り強く取り組むことができるであろう。</p> <p>(2) 学習の中に主体的に学び合う場面を設定すれば、お互いに認め合い励まし合って課題解決の方法を見つけ出し力を高め合うことができるであろう。</p> <p>(3) 日常生活の中で幅広く運動に親しむ場や生活習慣について考え取り組む場を設定すれば、心と体の健康に関心を持ち、健康に生活していこうとする意欲が高まるであろう。</p>	<p>D めざす子どもの姿</p> <p>○考える子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の心と体の健康について関心をもって考える子 ・他者と関わりながら運動について考える子。 <p>○思いやりのある子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の思いを受け止め、大切にしようとする子 <p>○ねばり強い子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいことに挑戦する子 ・失敗にくじけず、何度も挑戦する子 	
<p>F 検証方法</p> <p>仮説(1) つけたい力を明確にした単元構成や学習過程の工夫</p> <p>① 体育科年間指導計画表の作成（北浜小スタイル） ② 2年間を見通した単元計画の作成（低・中・高スタイル）</p> <p>③ スモールステップが意識された単元構成の工夫 ④ 主体的な活動を生み出す学習過程の工夫</p> <p>仮説(2) 主体的に学び合う場面を設定した学習の工夫</p> <p>① グループやペアの構成の工夫 ② 意図的な学び合いの場の設定</p> <p>③ 言語活動の充実 ④ 学び合いが深まる視覚的支援の活用</p> <p>仮説(3) 日常生活で幅広く運動に親しむ場や生活習慣について考え取り組む場の設定</p> <p>① 日常的に体を動かす環境づくり ② スポーツや健康を身近に感じる環境づくり</p> <p>③ 体育授業を支える学習環境の整備</p>			
<p>G 研究計画</p> <p>4、5月 研究構想 素案作成</p> <p>6月 ○児童アンケート</p> <p>○3年生 研究授業</p> <p>7月 ○1年生 研究授業</p> <p>8月 ○各研修会に参加→報告</p> <p>10月 ○1・2年生 研究授業</p> <p>○2年生 研究授業</p> <p>11月 ○6年生 研究授業</p> <p>2月 ○児童アンケート</p> <p>○研究紀要 まとめ</p>			